

伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備事業に関する サウンディング調査の実施結果概要の公表について

令和4年12月

伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備に係る検討委員会
(伊勢崎市企画部事務管理課)

1 サウンディングの実施経緯

本事業に当たっては、伊勢崎駅前広場及び(仮称)伊勢崎市新保健センター・子育て世代包括支援センターに加え、中心市街地におけるにぎわい創出の第3の核として、伊勢崎織物協同組合が本市曲輪町地内に所有する土地を活用した拠点整備を目指すものです。

そこで、本年7月に外部有識者による本検討委員会が設置され、「中心市街地にぎわい創出拠点整備に係る基本構想案」の作成に向けて検討を進めております。

ついで、本構想案の検討に当たり、民間事業者等の皆様から本事業への参画意向や最適な事業の条件(ゾーニング、業務範囲、事業スキーム等)等について広く御意見や御提案等を募集し参考とさせていただくため、「伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備事業に関するサウンディング調査」を実施したものです。

2 サウンディングの実施スケジュール

実施要領の公表	令和4年10月 3日(月)
現地見学会(任意参加)の開催	令和4年10月14日(金)及び17日(月)
サウンディングの実施	令和4年12月 7日(水)から 9日(金)まで
サウンディング実施結果概要の公表	令和4年12月28日(水)

3 サウンディングの参加者

- (1) 現地見学会参加者 6者
- (2) サウンディング参加者 10者

4 サウンディング結果の概要

(1) 【民間運営部分】に関する提案等

対話の対象項目	対話概要
① 本検討委員会が【民間運営部分】に導入を見込む事業について、まちなかのにぎわい創出に資する効果に関する提案等	A インキュベーションスペース(作業+展示・販売) ア 起業家を支援する機関や指導者が身近にあることが必要となる。 イ コワーキングスペースを併設することで、次世代の担い手を育成していくことができる。 ウ 貸事務所、貸し会議室及びイベントホールを設置することで、収益向上にも役立つと考える。 エ 若手アーティストや作家のアトリエを解放、展示等する。
	B レンタルスペース・チャレンジショップ ア 独立採算制によるレンタルスペースは、チャレンジショップと連動したイベントにも対応できるようにすることで、地域に根付けばにぎ

	<p>わいが生まれる。</p> <p>イ 事業利用者数が十分であれば、公共部分の企画スペースと合わせて相乗効果がある。</p> <p>ウ にぎわい創出を生み出す可能性があるが、独立採算の場合、収益を見込みづらい。[2者]</p>
	<p>C 飲食・販売などの小規模店舗＋集客施設</p> <p>ア カフェ等の設置 [3者]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ついでに立ち寄れるような、また、子どもからお年寄りまでの幅広い人々が利用しやすいカフェや飲食の施設を整備する。 ・カップ等の小物やインテリアに銘仙のデザインを用いるなど、銘仙をテーマにしたカフェを設置する。 <p>イ 地元で人気・活気のあるレストランやパン屋等は、まちなかに人を呼ぶ集客施設となる。</p> <p>ウ 金銭的な面も含め出店者に魅力ある利用条件が提示できれば集客力のある店舗が集まる等の効果が期待される。[2者]</p> <p>エ 拠点として価値をもつためには、店舗単体ではなく集合体としての魅力がにぎわい創出につながる。</p> <p>オ 地域性や今回の「基本理念」を考慮した、一貫したコンセプトに基づいた背景があるべきと考える。</p>
	<p>D 広場等</p> <p>ア イベント開催（キッチンカーや地域との共同主催イベント）を実施するためにも広場は必要である。</p> <p>イ 歩道が拡幅されるシンボルロードとつながるので、対象地に広場があることは、周辺がウォーカブルなエリアとなるきっかけとなり得、にぎわい創出に有効である。</p> <p>ウ 下城弥一郎・森村熊蔵の碑に隣接して、広場や緑地の整備等を図る。</p> <p>エ 緑あふれる散策路や自然を学べるような環境を整備する。</p> <p>オ 広場等は安定収益とはならないため、独立採算で運営することは難しい。</p>
	<p>E 駐車場</p> <p>ア 駐車場は必要な機能である。[7者]</p> <p>イ 必要台数や適正な規模を検討する必要がある。</p> <p>ウ 利用を制限するためのコインパーキングが必要になる。</p> <p>エ 公共的（若しくは公共的でなくても）に使用できれば、商店街への人の流動は良くなる。</p>
	<p>F その他</p> <p>ア 施設の店舗や機能を一部「ドライブスルー」として利用できるようにすることで話題性やコロナ対応が図られる。</p> <p>イ 学生及び高齢者の対応のため駐輪場も整備する。</p> <p>ウ いせさき明治館、下城弥一郎・森村熊蔵の碑や織物組合の展示館に加えて景観を統一し、市民が立ち寄りやすい空間づくりを検討する。</p>

	<p>エ シンボルロード沿いは用地を提供して歩道を広く確保することを検討する。</p> <p>オ 昼間人口の増加と交流人口の確保が不可欠である。</p> <p>カ 老若男女関係なく、幅広い層の人が集まる“きっかけ”を持つ事業や機能が入ることで中心街から街を活性化させる。</p>
② まちなかのにぎわい創出とともに本施設の収益を増やすために追加もしくは削除が望ましい事業に関する提案等	<p>A 追加機能</p> <p>ア 地元企業のオフィス機能を整備する。起業・創業を支援する整備として、既にこれらを行っているような団体、機関が入居することが、より強固な体制づくりとしては望ましい。[5者]</p> <p>イ 展示会、発表会、見本市、セミナー、シンポジウム、試験会場等での利用が見込まれるため、コンベンションホール等を整備する。[4者]</p> <p>ウ 貸しオフィス・テレワークスペースを設置する。[3者]</p> <p>エ 屋外イベントスペースを整備する。[3者]</p> <p>オ 産（地元企業等※民間運営部分）、官（公共部分）、学（図書館※公共部分）を想定し、産官学が複合化することで、新たな交流が生じ、新しいアイデアが生まれる。</p> <p>カ 小さな商いをまちの人々に向けて表現できるような店舗兼賃貸住宅を整備する。</p> <p>キ 多業種の多国籍飲食店、各種対応の医者、温泉施設、展望施設、トレーニングジム、レンタル電動キックボード・自転車等を設置する。</p> <p>ク 伊勢崎銘仙のデザインによる本市限定のお土産等を販売する。</p> <p>ケ 織物会館を「いせさき織物博物館」としてリニューアルし、文化・教養施設として運営していく。</p> <p>コ アートギャラリーを整備する。</p> <p>サ 日用品等物販店を設置する。</p> <p>B 削除機能（次の機能は不要と考える。）</p> <p>ア 外構・遊具、レンタルスペース及び民間部門としての駐車場</p> <p>イ 飲食・販売などの小規模店舗＋集客施設（広場等）</p>
③ 該当範囲の土地賃借料の上限に関する提案等	<p>A 土地賃借料の上限を出すことは困難</p> <p>ア 施設所有者として不動産賃貸事業が行えるかどうかによって土地賃借料の上限は変わる。</p> <p>イ 土地賃借料の設定には、支出と収入を踏まえた事業計画が前提となる。</p> <p>B 土地賃借料の上限に関する提案</p> <p>ア 施設整備や運営を考慮し検討する。</p> <p>イ 該当範囲の場所は、民間建物の建築面積のみが望ましい。</p>
④ まちなかの店舗・企業等との連携・相乗効果に関する提案等	<p>A 飲食・販売等の小規模店舗＋インキュベーションスペース</p> <p>ア 魅力的な飲食店で同施設への人流を促す。</p> <p>イ 市内外の販売店の出張所を設ける。</p> <p>ウ 期間限定のポップアップショップ等を設け、市外の企業、店舗との</p>

	<p>コラボによる相乗効果を期待する。</p> <p>エ 新たな人材育成や雇用促進など、市内企業との交流の効果が期待できる。</p>
	<p>B まちなか店舗への誘導</p> <p>ア 本施設周辺店舗との連携した取組や銘仙着付けとレンタルによる街歩き事業を実施する。</p> <p>イ レンタル自転車による街歩き事業を実施する。</p> <p>ウ 対象地から半径200～300m程度の小さなエリアを「歩いて楽しいエリア」となるためのきっかけとなる事業を目指す。</p> <p>エ 人を流す仕組みが必要である。一時的なイベント開催では不十分であると考える。</p> <p>オ 公共部分の集客力、情報発信力が必要となる。</p> <p>カ 織物や店舗、企業、図書館、(仮称)伊勢崎市新保健センター・子育て世代包括支援センター及び市民との連携が必要となる。</p>
	<p>C 地元の公益経済団体との連携</p> <p>ア 伊勢崎市の三大まつり(七夕まつり、いせさきまつり及びいせさき初市)やその他伊勢崎駅を中心とした新たなイベントに対しても相乗効果が期待できる。[2者]</p> <p>イ イベント開催時にまちなかの店舗に出店していただく必要がある。</p> <p>ウ 企業には協賛いただくことで知名度を向上させていく必要がある。</p> <p>エ まちなかの発展・育成に向けた活動をする。</p> <p>オ 既存の店舗・企業との関係性が構築されていることが必要である。</p>

(2) 【公共部分】に関する提案等について

対話の対象項目	対話概要
① 本市の人口動態等を考慮した上で、各機能の利用率を最大化する規模等に関する提案等	<p>《情報発信スペース》</p> <p>A 市内企業紹介 [2者]</p> <p>民間運営部分に伊勢崎の経済団体オフィスや貸事務所、創業・経営相談窓口を設置し、民間運営部分の中で市内企業や市内企業の持っている技術力・製品・商品を紹介し、ビジネスマッチングにつなげる。</p>
	<p>B まちなか起業・創業支援、オープンイノベーション等に関する相談窓口 [2者]</p> <p>民間運営部分での機能とし、民間運営部分との一体化を図る。</p>
	<p>C ラジオブース</p> <p>オープンスタジオ(スタジオ+聴衆スペース)、作業スペース及び会議スペースを設置する。(広さについては各14～15㎡)</p>
	<p>《企画スペース》</p> <p>図書スペース</p> <p>伊勢崎市図書館を全面移設する。[6者]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館は必ず集客が見込めるため必要である。 ・然るべき公共施設(図書館)は、中心拠点の活性化において最も重要

	<p>で整備は不可欠である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼間交流人口を増やすことが必要である。 ・老朽化問題を解決できる。 ・伊勢崎市図書館を移設し、新しいタイプの図書館を目指すことが有効である。 ・創業・情報の拠点として利用者を増やす。
<p>② 主な提案・検討機能に整理した各項目について、まちなかのにぎわい創出に資する効果に関する提案等</p>	<p>≪情報発信スペース≫</p> <p>A まちなかに関する情報発信 伊勢崎市のローカルメディアを設立する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ、紙媒体及びSNSを組み合わせた情報発信を行う。[3者] ・市政情報だけでなく、市内の様々な動き・課題を取材し発信するメディアとする。[2者] <p>B 伊勢崎織物協同組合所有資料展示</p> <p>ア 織物産業伝承施設は、現在の織物組合を再築して、規模を拡大準公共的な機能を集約する。[3者]</p> <p>イ 伊勢崎の産業史においては外せない部分であり、市民にとって誇れるものとして重要なことから、観光という視点でも必要である。[2者]</p> <p>C まちなか起業・創業支援、オープンイノベーション等に関する相談窓口 [6者] テナント型の複合の整備によって準公共的な機能を移す。</p> <p>D ラジオブース ローカルメディアの情報発信拠点として活用する。[2者]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンスタジオを活用した番組・イベントを実施する。 ・市のイベント情報を提供し、来場動機を促す。 ・まちなかの好立地を生かした市民主役の番組作り・ゲスト起用 ・防災行政無線に代わり災害情報をいち早く地域住民に提供するファーストインフォーマーとなる。 ・外国人住民に向けた情報発信を行い、共生社会を推進する。 ・情報ステーションとする。 <p>≪企画スペース≫</p> <p>A 登録企業等による催し・企画展等</p> <p>ア まちなかにくり出していくよう市内企業情報紹介・企画展を実施する。[3者]</p> <p>イ フレキシブルに対応できる施設機能（コンベンションホール、屋外オープンスペース、アートギャラリー）を備えることが必要である。</p> <p>ウ 50人規模のホールや会議室を整備する。（予約が無い場合はフレキシブルに提供できないか工夫が必要となる。）</p> <p>B まちなかのにぎわいを促す市・関連団体事業</p> <p>ア 銘仙着付けレンタル事業による街歩きへの誘導（伊勢崎駅～時報鐘楼～織物会館～商店街店舗～からくり時計～伊勢崎神社～相川考古</p>

	<p>館など)を実施する。</p> <p>イ 機織り体験や織物を使ったハンドメイドワークショップ、ファッションショーを復活させる。[2者]</p>
	<p>C 図書・学習スペース</p> <p>ア 導入機能各々は共通して閉じた施設ではなく、まちに開いたスペースであれば、訪れるきっかけになりやすくなり、にぎわい創出に効果がある。</p> <p>イ 幼児・児童向けの図書や読み聞かせや学習スペースは自然とにぎわいを生む。</p> <p>ウ 施設の複合化により、新たな利用者と利用率の向上をもたらす相乗効果が考えられる。</p>
	<p>D その他</p> <p>ア 伊勢崎神社へ誘導する都市計画、道路整備計画・公共建物と調和が必要である。</p> <p>イ おしゃべりカフェを設置する。</p> <p>ウ 高齢者雇用と主婦の雇用マッチングを行う。</p>
③ 本施設の利用者を増やすために追加もしくは削除すべき機能に関する提案等	<p>《追加すべき機能》</p> <p>A オープンスタジオと相乗効果が期待できる機能</p> <p>ア 屋外広場スペースを設置する。[3者]</p> <p>イ セミナーや講演会が可能な屋内スペースを設置する。[2者]</p> <p>B 利用者を増やすための施設</p> <p>ア 伊勢崎市図書館を全面移転する。[6者]</p> <p>イ 地元ならではの商品が買える場所を追加する。</p> <p>ウ 交番、公衆トイレを設置する。</p> <p>エ 地域タクシーを整備し、活性化につなげる。</p> <p>オ バス停留所を導入することで、まちなかの回遊にも有効と考える。</p> <p>カ 市役所の出張所等を設置する。(夜間も公共部門を開館する。)</p> <p>キ 夜間学校(高校、大学)を設置する。</p> <p>ク フォトスポットや簡易結婚式が挙げられる場所を整備する。</p> <p>C 赤石楽舎との連携</p> <p>図書サービス以外のイベントも生み出しやすくなる。</p> <p>D 織物伝承機能</p> <p>各家庭からの銘仙資料等の寄付により、当該施設で展示するしゅきを構築する。[2者]</p> <p>《削除すべき機能》</p> <p>図書館の全面移設が望ましいため、幼児・児童向けに限定したスペースは削除とする。</p>
④ 導入機能の質を確保しつつ運用費を削減する整備や運営手法(PFI)	<p>A ローカルメディアの運営に関する産学連携</p> <p>「情報」に関する学習の場として、市内の大学生・高校生のインターンシップを実施する。</p> <p>B 運営手法</p>

<p>等)の提案・可能性に関する提案等</p>	<p>ア 収益を見込む民間運営部分は、特にPFIとの親和性は高い。 イ 図書館、織物会館の公共事業とPFI事業（BTO方式の活用）、どちらも可能である。[2者] ウ 国費の支援制度を活用する。[2者]</p>
<p>⑤ まちなか情報・市内企業紹介に多くの来場者が興味を持つ発信方法・対象設定方法に関する提案等</p>	<p>A ラジオ・紙媒体・SNSを組み合わせた情報発信 ア 各媒体が独立しているのではなく、各媒体のメリットを組み合わせた情報発信を行う。[2者] イ (全媒体に) 広告収入の最大化、SNSからラジオへ、さらに、ラジオから紙媒体へというようなメディア利用者の誘導を図る。[2者] ウ ターゲットを細かく設定した企画・番組の発信を行う。[2者] エ SNS、スマホアプリを用いて若年層にも発信を行う。[6者]</p> <p>B 市内企業紹介 ア 市内企業の商談会、展示会、展示即売会を開催する。[2者] イ 企業展示スペース、同業者同士のイベントを実施する。 ウ ビジネスマッチングフェスを実施する。 エ 学生に向けて各種学校へインターシップの様な形で市内企業を紹介する。 オ ラジオブース設置によりラジオと連携することで、市内企業や市の特産物を効果的に紹介する。</p> <p>C 銘仙に関連する情報発信 ア 織物関係の職人に話を聞く会を開催する。 イ イベントやワークショップ等の開催における情報発信を行う。 ウ 伊勢崎銘仙と図書館機能とのコラボレーションを実施する。 エ 紙以外の媒体（電子掲示板等）で情報発信する。</p> <p>D その他 ア 市民等が本対象地へ情報を収集に行くのか疑問がある。 イ 駅前インフォメーションセンター及びいせさき明治館における代用はできないのか検討する必要がある。</p>
<p>⑥ 成果連動型民間委託契約方式の可能性に関する提案等</p>	<p>ア 施設運営のモチベーションになり得るが、成果を測る指標を何とするか、またその測定方法の決定は非常に難しい。そもそも必要だが、成果として上がりにくいものを公共が補っている。 イ 仕様発注より成果の評価方法や評価の基準が不透明である。 ウ 通常時の利用人数やイベント時の集客人数など、事業開始後ある程度ベンチマークが出たあとに実施することで成果が出るのではと考える。</p>

(3) 【民間運営部分】・【公共部分】 共通に関する提案等について

対話の対象項目	対話概要
<p>① 両施設の機能や事業が利用しやすいものとなる配置</p>	<p>A 施設配置 ア 東側道路からのアクセスのしやすい箇所に飲食販売などの小規模店舗を配置する。</p>

<p>や動線に関する提案等</p>	<p>イ 東側のシンボルロードや歩道に面し、人の様子が伺えるにぎわい機能を整備する。</p> <p>ウ にぎわいを取り込む機能の配置や動線を検討する。</p> <p>エ 北側道路からの市民センター、インキュベーションセンターを設置して赤石楽舎と連携を図るとともに、南からのアクセスを可能とする</p> <p>オ 「通り抜け」を意識した施設配置と「回遊性」のある動線計画を行う。[2者]</p> <p>カ 行き止まりのない動線計画（防災、避難上も有利）を行う。[2者]</p> <p>キ 分棟か合築棟か、現状では判断がつかない。</p> <p>ク 利用者を増やすために追加すべき屋外広場スペースは、民間運営部分と公共部分の建物の間に配置する。</p>
<p>② 赤石楽舎の施設や広場との連携・一体利用に関する提案等（歩道・外構整備含む。）</p>	<p>B その他</p> <p>ア 環境設計、景観修景計画を実施する。</p> <p>イ 施設内に設置する広告物のデザイン整理、情報整理が必要である。</p> <p>ウ 織物の技術に関する環境整備や展示方法を計画する。</p> <p>A 赤石楽舎との連携等</p> <p>ア 現状の運用で特に問題はないと考える。</p> <p>イ 各建物とつなげる小径を整備する。</p> <p>ウ 公開生放送スペース・ローカルメディア主催イベント時の会場とする。</p> <p>エ 図書館と広場や赤石楽舎は連携がしやすく相乗効果が期待（運営や整備における詳細検討が必要）される。</p> <p>オ もっと活用し、収益を生むような利用法も含めて可能とするような寛容な運営をして積極的な利用を促すべきである。利用料を明確にした上で、施設内や広場で物販を可能にする。[2者]</p> <p>カ 一体的な利用を想定し、北側の塀は無くした上でオープンスペースを設ける。[3者]</p> <p>B 歩道・外構整備</p> <p>ア 場合によっては道路を通行止めとすることで行き来を楽にし、さらなる一体感のためにも道路舗装を同じ仕上げとする。[2者]</p> <p>イ 通りを使ったマルシェや広場を使ったイベントなど、フレキシブルに対応できる外部空間を設け、にぎわいを創出する仕掛けづくりをする。[2者]</p> <p>ウ 外国人が多く住む国際色豊かな伊勢崎市をアピールすべく「ブラジル文化イベント」、「ベトナム文化イベント」等を開催する。</p> <p>エ 市街地にもっとベンチ等を増やす。</p> <p>C 下城弥一郎、森村熊蔵の碑について</p> <p>ア 功績や歴史を考慮し、現状の位置のまま有効的に活用していく。[3者]</p> <p>イ 単体で人を呼び込むことは難しいため、別敷地に公園等を整備した上で移築又は移設することも検討する。[2者]</p>

<p>③ 【民間運営部分】と【公共部分】との一体管理・運営による運用費削減効果に関する提案等</p>	<p>A 官民施設を一体管理・運営や複合化することでランニングコストの管理費(人件費・システム等含む)を削減 ア 税制等の軽減が見込める。 イ ①全公共負担(公共のみ)・②公民部分を民間が整備所有 ウ 会議室及びコンベンションホールの相互利用を行う。</p> <p>B 公共建物と民間建物のインフラ部分も含めて上下水道・空調・電気・通信・セキュリティー面等を一体とすること 省エネ計画（E S C O事業）とする共有部分を増やすことで建設費は抑えるメリットがある。</p> <p>C その他 【民間運営部分】と【公共運営部分】との一体管理については反対と考える。一体管理が必要だという場合は、いせさき明治館の事務等の既存の運営に追加することを検討することが望ましい。</p>
<p>④ 既存施設を活用（増改築等）した場合の費用対効果に関する提案等</p>	<p>A 解体推奨意見〔3者〕 ア 建物施設の配置に制約が生じるので解体とした方が良い。 イ 本来の目的である昼間人口の増加と交流人口の確保によるにぎわいの創出のためには、当該敷地の全面リニューアルが最も効率的と考える。 ウ 既存施設は解体して新たな施設に含めた方が良い。</p> <p>B 解体に関する課題 ア 現時点では費用対効果は不明である。既存施設の状況と計画内容によるものと考ええる。 イ マスタープランを描きながら判断すべきである。</p> <p>C 解体しないメリット ア 耐震工事を行っているとのことなので、それを改修し使い続けることはSDGsや既存ストックの再利用という観点からも良いことである。 イ SDGsや環境問題に興味を持ってもらう、知ってもらう手段としては大変有効である。</p>
<p>⑤ 将来、公共施設の代替・集約地となる可能性を考慮した対応（施設の配置、一部リース活用等）の有効性に関する提案等</p>	<p>A 配置計画 ア 建物プランについては、整形で可動間仕切り等の設置が一般的である。 イ 構造体はプレハブ造（工業化生産）した規格品であれば、将来的な解体や改修が比較的容易である。 ウ 民間運営部分と公共部分とは別棟にしておくべきなのかは今後の検討課題である。</p> <p>B 一部リース活用 契約満了時に「解体」・「再リース」・「譲渡」の選択ができることが特徴である。</p>
<p>⑥ 想定される整備準備期間及び最低</p>	<p>A 準備期間〔2者〕 ア 構想・検討・調整準備期間として約1～2年</p>

必要となる事業期間に関する提案等	イ 設計及び解体工事、新築工事までの期間として約2～3年程 【民間運営部分】約2～3年 【公共部分】設計期間1年、工事期間1年
	B 事業期間 [2者] 【民間運営部分】最低20年 【公共部分】5年～20年程度で任意の期間が一般的
	C その他 必ずしも、今回の事業で対象地全域を使う必要があるわけではないと思われるので、段階的な展開もあり得ると考える。

(4) 参画意向等に関する提案等について

対話の対象項目	対話概要
① 本事業に対する参画意向	A あり [8者]
	B 未定・不明 [2者]
② その他提案いただいた事業アイデアを実現する際の条件、課題、懸念事項等	A 条件 ア 実施要領に記載の協議中の箇所は、本事業により対象地を一体として活用していくためには必要不可欠な土地である。 [6者] イ 民間部分について、特に創業支援をサポートするために一定の補助金が必要となる。
	B 課題 ア ローカルメディアの運営方法を検討する必要がある。(第三セクターなど) イ ラジオの運営について、市内コミュニティFMの連携・活用を検討する必要がある。安定的な収入源の確保・人材確保について検討する必要がある。 ウ この場所だけで整備事業を完結することは難しい。 エ 他の自治体を参考に地域の特色を生かしながら積極的で継続的な活性化を図らなければ衰退していくと考える。 オ 公共施設整備が含まれており、市の予算確保を考慮していない。 カ PPP事業で展開する際、補助要件の適用有無について検討していない。 キ 民間運営部分の公募を行うに当たり、官民リスク分担をまとめる時に民間の意見も反映させないと公正な公募ができない。 ク 現在では、情報が一部の人に集まってしまう傾向があるため、イベント情報など、興味がある人が情報を得られる仕組みを公共と民間が連携して組織することが必要と考える。 ケ 銘仙のブランドイメージを市とまちが一体となって創り出す。
	C 懸念事項 ア 建築資材高騰が続く中、事業化までのスケジュール感が来年度以降と不透明である。 イ 対象敷地北東側道路(シンボルロード)の更新の具体的なスケジュー

	<p>ールがわからない。</p> <p>ウ 行政・民間企業・団体、その他まちづくりに意欲のある一般市民がもう少し気軽に集まり、これからのまちのあり方を考える場をもっと多く設けた方が良い。市民の共感を得ることが大切である。</p> <p>エ さまざまなジャンルの事業者を入れた方が良い。業種に偏りがあると意見や視点、思考の偏りが出る。</p> <p>オ 業者同士の交流があると、新しい取り組みが生まれるきっかけになる。事業者のアイデアやそれぞれのノウハウを上手く活用し、織物のように皆が分業し、それぞれの知見、経験と力を合わせ、まちを作りあげることができたら良い。</p> <p>カ 実施要領の文章における「銘仙」の使い方に懸念がある。</p> <p>キ 公共部分についても複合化を提案しているため、庁内の調整が難しい。</p> <p>ク 商店街空き店舗の利活用を進める。</p>
--	---

5 サウンディング実施結果を踏まえた今後の方針について

今回のサウンディング結果を基に、今後、本委員会において基本構想案を作成していく予定です。